

# だいち

地域に生きる

編集者：蓮田太陽の里

「だいち」広報委員会

〒349-0101

埼玉県蓮田市黒浜1045-1

TEL 048-764-3881

FAX 048-764-7788

H P <http://minuma-hukushi.com/>

ふゆのき



絵：戸谷 百花

## 巻頭コラム

白岡ふれあいのもりまつり

5月13日(日) 第7回白岡ふれあいのもりまつりが行なわれました。大地からは授産製品、わたあめ、飲み物の販売を行いました。当日の天気は残念ながら雨となってしまいました。多くのお客様に来ていただくことができました。中でもわたあめは子供達に人気で、作っているわたあめをきらきらとした眼差しで見つめ、出来上がったわたあめを美味しそうに食べている姿を見ることができ、とても嬉しかったです。

仲間達にとって、地域の方々と交流する機会はあまり多くありませんが、このようなイベントに参加することで仲間達に良い刺激となっていると思います。来年も仲間と参加したいなあと思いました。

北隅 友輔(職員)

## GW企画

### 【外出企画 鉄道博物館】

今年のGW外出企画では、さいたま水族館と鉄道博物館へ行きました。鉄道博物館へは、諸岡さんと土屋莉恵さんが行きました。当初行く予定だった福沢さんは体調不良で行けなくなったため当日急遽、莉恵さんがいくことになりました。ゴールデンウィークということもあり、館内はとても混雑していました。諸岡さんと莉恵さんはワクワクした様子で進んでいきました。館内には、多くの鉄道が展示されており、実際に乗ることも出来ました。諸岡さんは、乗れる車両には全て乗り「旅をしているみたいだね。」と楽しそうにしていました。莉恵さんも車掌さんに切符を切ってもらおう体験をして「昔に戻ったみたい。」と最近

ではあまり出来ない体験が出来て良かったと思います。食事は館内のカレーを食べる予定でしたが、混んでいたのと予定していた予算を大幅に超えるため、帰りにココイチに寄ってカレーを食べることにしました。それぞれ好きなカレーを頼みましたが、どれも想像していたよりも辛かったらしく「結構辛いんだね。」と言っていました。

鉄道博物館は他の仲間にもおすすめできる場所だと感じました。機会があればまた行きたいです。

小原 陵太（職員）



### 【ポッチャ大会】

5月3日にポッチャ大会を行いました。5月は体調不良の方が多く、盛り上がりに欠けるのではないかと懸念していましたが、元気な皆さんに参加していただき、大いに盛り上がったのではないかと思います。

鈴木さんは「ランプ」と呼ばれるお手製の自助具を使わずに投げました。しっかり狙って投げましたが、ポッチャのボールは思わぬ方向へ。大地特製の手作りポッチャボールですので、上手く狙いを定めても、ゴロンゴロンと右へ左へと行ってしまいます。そんなボールも楽しいね、なんて話しながら次は玉枝さんも投げます。

玉枝さんもランプを使わずに挑戦しました。ボールをしっかりと持ってくれましたが、投げるふり

だけでなかなか投げてくれません。周りの仲間からも「たまさんはやー！」と急かされ玉枝さんはニヤニヤ。結局ランプを使って投げました。

「曲がっちゃったー！」「おーすごい！」「がんばれー！」等たくさんの方が聞こえてくる楽しいポッチャ大会でした。

高橋 茂奈美（職員）



### 【ボウリング大会】

GWの企画の一つとしてボウリング大会を行いました。ボウリングのボールも色違いのもの、重さも軽いものと少し重みがあるものを用意しました。仲間には、好きなボールを選んでもらい思い思いに投げてもらいました。狙いを定め投球するも以外に難しく、なかなか思い通りにピンに当たりません。前半は、みんなのスコアも伸びませんでした。

そこで、伸びたり縮んだりするお手製の自動具、「ランプ」の登場。そのランプで狙いを定めピンの手前まで伸ばし投球。当然のことながら、みんなのスコアは嘘のように一気に伸びました。ストライクやスパアを出す仲間も現れ、なかなか好勝負となりました。

GWでいつもと違うことをや



藤井 寛（職員）

る事で、少しでも仲間の気晴らしになっていたら嬉しいです。

### 【さかなつり】

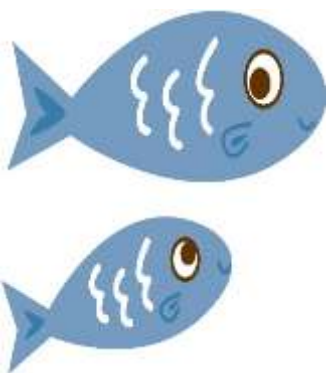
今年最後のGW企画は「さかなつり」でした。さかなはダンボールをさかなの形に切り取り、磁石を貼り付けて、それをクリップの付いた竿で釣るゲームです。それそれ大きさの違うさかなたちは、難易度ごとに点数を決めて個人戦で行われました。

「盛り上がるかなあ」と職員は心配していましたが、仲間たちや職員が楽しそうにさかなつりに参加している姿を見て、やって良かったと実感しました。さかなつりでは、大物を狙う仲間や、小さなさを多く釣る仲間など、それぞれ個性が出ていました。一番多く釣ったのは松本さんでしたが、白幡さんも僅差で2番目に多く釣っており、大健闘でした。他の仲間も1分間という短い時間の中

で頑張って釣っていました。

しかし、的が小さかったために「少し難しかった。」という仲間も居ました。今度さかなつりを企画する機会があったら、的を大きくする工夫をしたいと思います。

小原 陵太（職員）





### 職員異動挨拶

大地の庭のあじさいの葉も緑多い頃になりました。

4月に入り、急にしらゆりの家への異動の話しを頂きました。大地に勤めさせて頂いて丸8年。色々なことがあったなあ、と職員さん一人ひとり。仲間一人ひとりの顔を思い浮かべました。

嬉しかったこと、悩んだこと、立ち止まってしまったこと……。悩んだ時はみんなが相談にのってくれました。

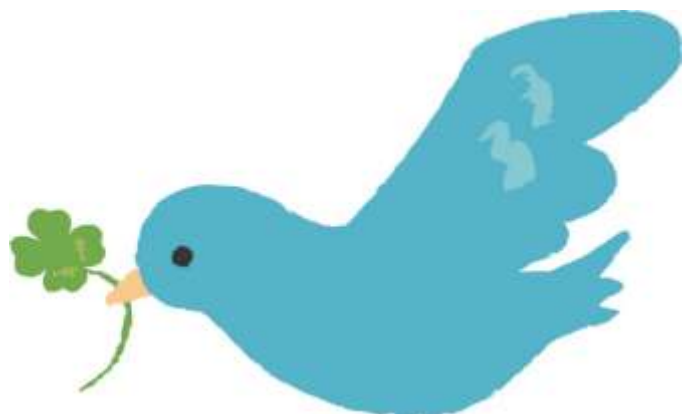
沢山の仲間がいて、一人ひとりを大切に思い考えながら、命を守り、生活を支えていく難しさ。もう少し寄り添えたら……。もう少し時間があつたら……。悩んだり立ち止まってしまう事はたくさんあるけれど決して一人ではない。お互いを支え合う職員、仲間たちがい

る。

大地で気付けたこと、大地で学べた事。私も目標を見つけ、しらゆりの家で頑張ろうと思います。

8年間お世話になりました。本当にありがとうございました。

柳沢 由紀子(職員)



### 宿直アルバイト挨拶

この度、宿直アルバイトとして採用されました、小林颯太と申します。

今年3月、実習生として1ヶ月お世話になったという事もあり、段々仲間の皆さんとのコミュニケーションも取れるようになってきたのではないかと思います。

こういった仕事をするのは初めてなので、分からないこと、不慣れなこともたくさんありますが、仲間の皆さんの生活のお手伝いをして頂きながら、沢山関わっていただけらと思っています。

これからどうぞよろしくお願ひいたします。

小林 颯太(宿直アルバイト)

5月から毎週日曜日に宿直で

入ることになりました、大塚麻由です。私は介護の仕事どころかアルバイトをすること自体初めてなので、沢山ご迷惑をお掛けしてしまつと思いますが色々教えて下さると嬉しいです。

私は今大学1年生で、学校では特別支援学校の先生になるための勉強をしています。趣味はマンガや小説を読むことです。また、アニメや映画を観るのも好きなので、好きな本やアニメ、最近観た映画の話等、仲間の皆さんと出来たらいいなと思います。

週に1度なので会える機会も少ないかも知れませんが、早く仕事を覚えて皆さんを支えられるように精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

大塚 麻由(宿直アルバイト)

# よもやまばなし 四方山話 みんなのおしゃべり広場

5月5日～6日まで一泊2日で  
第45回頸髄損傷者連絡会総会(大  
阪大会)が開かれ参加してきた。

(この会は個人加盟です) 201  
6年の入院から殆んど会議には参  
加していなかった。それ以前は参  
加していたのだが、退院後、体力、  
気力、身体の具合が良くなり、今  
年は天候不順ということもあり、  
これもまた辛いのである。障害者  
は2～3ヶ月寝かされると、動か  
なくなってしまう、もう前に戻ら  
ない。もう今年で辞めようかと  
思っていた。

そんなとき仲間からメールがあ  
り誘われた。まー季節もいいし、  
旅行も行きたい気持ちもあった。  
色々やってみると答えたのだが此

処からのハードルがいっぱいある  
のだ。もう考えるだけで嫌になる。  
(障害があることが辛くなってく  
る) 地域で顔見知りの人に付き添  
いを頼んでみた。良いよ!と返事  
が来た(滋賀の生まれで大阪も詳  
しい)。ベッドへの乗り移りなど  
は大会実行委員会が責任を持って  
くれる。後は医療的ケアが必要な  
自分を施設が認めてくれるかだ。  
こんな時「止めてください」と言  
われることがある。弱い立場にい  
るものは諦めるしかないのだ。  
(頼りになる親族がいないことが  
辛い、自分は一人だなーと身に沁  
みる)



8時に東京駅でまちあわせして  
9時の「のぞみ」に乗りいざ大阪  
へ。大阪を案内してくれた彼の車  
イスは大地の仲間である小澤君位  
あってかなり大きいのだが、巧み  
に乗りこなし、心齋橋、曾衛門町  
と天王寺区の会場まで2時間くら  
い車イスで案内してくれた。少し  
大阪が詳しくなったような気がし  
た。女子大生風の女の子を2人連  
れ、ヒーヒー言わせていた、  
(スピードが早いのだ) 私の付添  
人も汗だぐだった。大阪特有  
の美味しい食べ物も紹介しても  
らった(これは大阪で本部会議が  
多いことが影響してることの事)



大会のスローガンは、“人生を  
回復するための頸損連の社会的な  
役割”。噛み砕いていえば事故、  
病気等で障害を負った人が、その  
人の症状に合った社会的な支援が、  
政治的(行政的)に、国家レベル  
でも、県市町村レベルでも公平に  
保障されているか社会的に見てゆ  
くと言うことか。  
それは、NO!NO!

私が施設入所者と知ると自宅支  
援の相談に乗ってくれる人が何人  
か名刺を持ってきた。この様な人

達は施設に居て不自由な思いをしたことを話した。私は今いる施設のことを話した。(一緒に行ってくれた職員の知恵も借り)地域で果たす施設の役割、暮らしの様子など、障害者が積極的に地域に出ていって関わりを持っていく事で、理解を深め合うことが相互理解を深めて往く事になると述べた。それが実感として受け止めてもらえたかは分からないがこんな考えもあることを伝えた。国が進めている方向と同じなのか?たぶん2通りあっていいのだと思う。施設がその人にとっては居心地が良くないのだ。施設が民主的に運営されているのか等、実態を良く議論しないとよく分からない。

私も総会で発言をした。

「私は東京頸損所属の菊地です。埼玉にある施設に入所しています。」

埼玉では各自治体でサービス違います。私が受傷した時の自治体では、入所者にはサービスがありません。入所者にも移動支援や生活サポート等の権利を要求して下さい。」



他に気になった発言としては入院が3ヶ月で終わってしまうのはおかしい、全くその通りと思う。

私も国リハに3ヶ月いたが麻痺が治まらずリハビリが進まなかった。1ヶ月伸ばして貰ったがだめで次

の温泉病院に入院した。個人個人違つのでその辺を良く見て欲しい。どんな世代にも差別を持ち込まないでほしい!

言いたいことは言ったが、議長席からの回答で新しく委員長になった一緒に行った仲間から「貴方も一緒に考えて下さい」と回答された。今まで先頭を走ってきた70代の執行部は新しい若い集団に代わった。

帰りは通天閣周辺や(外人観光客で賑っていた)天王寺辺りを見学して帰ってきた。帰りはずっと車窓ばかり見ていた。あつという間に過ぎていった。また来ることもあるだろうか、新しい指導部はどうなつてゆくのだろう。一緒に考えるとどうしたら良いのか分からない。そんなことばかり考えていた。

東京頸髄損傷の会の菊地さんはまた指導部に機関誌編集長として残る様だ。大会の準備等で疲れ切つてるようだ。(健康に気を付けて頑張ってください)

頸損会の発展をいろんなことを考えたが…わからない!  
(忙しい中を一緒に行ってくれてありがとうございます。)

菊池 清(仲間)





# なかまと

# みんなの

# 輪



## まりこの 素敵な日常

おとうさんといっしょに  
いきました。イオンにいきま  
した。

さんすうノートをかいま  
した。

まりこ



## ゆかりの 素敵な日常

2018ねん5がつ12じゆ

まじをあげたらこめこおこほこ

です。

あげたらこめこおこほこ

みやよら



## さねの 素敵な日常

## おすすめ

たんじょうびにおねえちゃんとして  
ランにいきました。  
メッセージカードをもらえてうれし  
かったです。

さね

# ボランティア募集

## ウエス・古本・バザー品の

『大地』では、地域の皆さまに以下のご協力をお願いしています。

### ①ボランティア募集

館内の清掃や洗濯物の整理、ちょっとした身の周りのお手伝いや、外出の付き添いなどのボランティアさんを募集しています。

### ②ウエスの材料、バザー品（古本、雑貨）

仲間達が仕事で使う、ウエス製品の材料→綿100%の衣類、タオル、シーツ。また、バザーなどで販売するための古本（文庫本、マンガ）、雑貨（家庭で不要になったまだ綺麗で使える物）を募集しています。是非ご協力お願いします。

①ボランティア担当（面来、松崎）

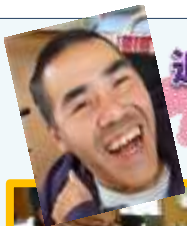
②ウエス、古本担当（野村、北隅）

ありがとう  
ございました！



岩上 めぐみ 様  
高橋 孝雄 様  
(順不同)

30年5月度に寄付して下さった方  
ありがとうございました



近野茂治の  
今月のイイネ！



運動会があったよ！

的当てをがんばりました！

## 大地6月の予定

2日	(土)	家族会
6日	(水)	後援会総会
7日	(木)	日帰り旅行（競馬）
12日	(火)	日帰り旅行 （サンリオピューロランド）
15日	(金)	発障協新任研修
21日	(木)	新任研修Ⅰ
23日	(土)	職員会議
28日	(木)	感染症研修
29日～ 30日	(金) (土)	新任研修Ⅱ

### 課業より

皆さんこんにちは。四月より課業の担当になりました、山木紗良です。初めてのことで、うまくいかないことがあるかもしれませんが、精いっぱい頑張りますので、よろしくお願いします。

今月は、七月に開催される「風・ふう・歩 作品展」のことや、今年の課業の方針について話し合う会議をしました。会議に参加してみても、仲間一人ひとりに合った支援を考えていたり、作品展を通じて、大地の仲間の仕事を知ってもらうことで地域との繋がりを大切にされていることがわかりました。私も、そのような仲間に関わり添えるような支援をしていきたいと思いました。



<広報だいち>広報委員会（職員）面来・安藤・岡部・小原・高篠  
（仲間）田村・神永・土屋莉恵・関口・近野・戸谷